

事業番号

2023 - 法務 - 22 - 0046

令和5年度行政事業レビューシート

(法務省)

事業名	国際連合に協力して行う国際協力の推進			担当部局庁	法務総合研究所	作成責任者	
事業開始年度	昭和36年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務企画部総務課	総務企画部副部長 川淵 武彦	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	犯罪の防止及び犯罪者の処遇に関するアジア及び極東研修所を日本 国に設置することに関する国際連合と日本国政府との間の協定 法務省設置法第4条第1項第35号 法務省組織令第57条、第58条第1項第3号			関係する 計画、通知等	キャパシティ・ビルディング支援に関するG8司法・内務閣僚宣言 (平成20年6月)		
政策	法務行政における国際化対応・国際協力(VI-14)			主要経費	その他の事項経費		
施策	法務行政における国際協力の推進(VI-14-(2))						
政策体系・評価書URL	https://www.moj.go.jp/content/001379615.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	アジア・太平洋地域を中心とする国々の刑事司法行政の健全な発展と相互協力の促進、国際犯罪への対策強化等を図り、我が国を含む国際社会の安定と安全の確立に寄与する。						
現状・課題 (5行程度以内)	アジア等の開発途上国において、捜査・裁判・犯罪者処遇等に係る法令や実務的な運用の不備等により、犯罪防止対策が不十分となっていることから、国際連合を始めとした国際機関等と連携して、刑事司法分野の課題に対応する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	国際連合と日本国政府との間の協定により設立された国連アジア極東犯罪防止研修所を国際連合と共同して運営し、アジア・太平洋地域を中心とする国々から捜査、裁判、矯正、保護の各分野の実務家を招へいして、犯罪の防止と犯罪者の処遇・少年非行の防止と非行少年の処遇に関する国際研修や各種セミナーを開催するほか、国際連合等が実施する犯罪防止・刑事司法における諸活動に参画し、犯罪防止と犯罪者の処遇等に関する調査・研究及びその成果の発信・提供を行う。						
事業概要URL	https://www.unafei.or.jp/about/yakuwari.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	147	122	127	111	156
		補正予算(B)	▲17	▲26	▲0.3	▲0	
		令和5年度第1次補正予算				▲0	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	130	96	126.7	111	156
		執行額(G)	51	35	82		
執行率(%) =(G)/(F)	39%	36%	65%				
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	39%	36%	65%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	国際協力推進費			重要政策推進枠:151		
	(目)	政府開発援助庁費	29	37	政府開発援助庁費:計画見直しに伴う増		
	(目)	政府開発援助外国人招へい旅費	21	44	政府開発援助外国人招へい旅費:計画見直しに伴う増		
	(目)	政府開発援助職員旅費	21	23	政府開発援助職員旅費:計画見直しに伴う増		
	(目)	政府開発援助国際機関等拠出金	18	20	政府開発援助国際機関等拠出金:計画見直しに伴う増		
	(目)	政府開発援助研修生旅費	9	12	政府開発援助研修生旅費:計画見直しに伴う増		
		その他	13	20	その他:計画見直しに伴う増		
	計(A)	111	156				

活動内容① (アクティビティ)		国際連合と協力して、アジア等の開発途上国を対象に、「法の支配」や「グッド・ガバナンス」など対象国のニーズを踏まえた研修等を企画・実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国際研修を通じて、参加者の意識・能力を向上させ、相互理解を促進させる。	犯罪の防止と刑事司法運営の健全な発展のための国際研修等に参加した研修員の延入日	活動実績 当初見込み	延入日	28	2,379	3,790	-	-
					延入日	4,280	3,984	3,912	4,056	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		質の高い国際研修等を実施することが、刑事司法分野における各国の能力強化・人材育成、相互理解の促進につながるため、短期アウトカムとして研修参加者の満足度に関する成果目標を設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		研修参加者の満足度を直近3か年平均以上とする。	犯罪の防止と刑事司法運営の健全な発展のための国際研修等に参加した研修員の満足度	成果実績	%	90.9	95.5	97.7	-	
				目標値	%	89.3	89.3	95	94.7	
				達成度	%	101.8	106.9	102.8	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		研修員に対するアンケートを実施し、「(「有益であった」と回答した研修員数/回答した研修員数)×100で成果実績を算出								
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		刑事司法分野における各国の能力強化・人材育成がされ、相互理解が促進されることは、法の支配及びグッドガバナンスを世界に広め、国際社会の安定と安全の確立につながるのと同時に、国相互の良好な関係を構築するため、各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築を成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		国際研修の実施が各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築にどのように反映されたのかは、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		国際連合等が実施する犯罪防止・刑事司法における諸活動に参画し、犯罪防止と犯罪者の処遇等に関する研修及び調査・研究活動の成果の発信・提供を行い、法務省が所掌事務に関連して有する知見や経験等を他国に提供するなどの国際協力を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		国際連合等が主催する国際会議を通じて当所の研修や調査・研究活動の発信を行う。	国際連合等が主催する国際会議への参加回数	活動実績	回	6	9	10	-	-	
				当初見込み	回	6	9	10	10	-	
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 国際連合等が主催する国際会議において、我が国の知見や経験を他国に発信し、諸外国、国際機関等と互いの知見・経験を共有することで、国際協力の基盤が醸成され、また、刑事司法分野における各国の能力強化・国際的なネットワークの構築・維持につながると考えられるため、短期アウトカムの指標として、参加した会議において、ステートメントや発表、展示等の発信を行った割合を設定した。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
		国際連合等が主催する全ての国際会議において、我が国の知見や経験を他国に発信し、諸外国、国際機関等と互いの知見・経験を共有する。	職員が参加した国際連合等が主催する国際会議のうち、ステートメント、発表、展示などの発信を行った会議の割合	成果実績	%	83.3	55.6	100	-		
				目標値	%	100	100	100	100		
				達成度	%	83.3	55.6	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		ステートメント、発表、展示等を行った会議数/職員が参加した国際連合等が主催する国際会議数									
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 我が国の知見や経験を諸外国や国際機関と互いに共有することは、法の支配及びグッドガバナンスを世界に広め、国際社会の安定と安全の確立につながることも、国際的なネットワークを構築することにつながるため、各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築を成果目標として設定した。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度		
		各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 国際連合等が主催する国際会議への参加が各国における刑事司法制度の強化及び各国の刑事司法実務家のネットワーク構築にどのように反映されたのかは、定量的な評価になじまないため。 アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等		名称	-								
		URL	-								
		該当箇所	-								

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載）	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	雑役務費	リングスティックアドバイザー業務	6	諸謝金	通訳謝金	8	
	計		6	計		8	
	C.			D.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
職員旅費	公務出張に係る交通費等	5	-	-	-		
計		5	計				
E.			F.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
招へい旅費等	専門家の招へい等に係る交通費等	1	拠出金	派遣職員の活動準備経費	2		
計		1	計		2		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	リングスティックアドバイザー業務	6	随意契約(企画競争)	1	100%	-
2	ソフトウェアエンジニアリング株式会社	6011001012911	会議運営等業務	6	一般競争契約(最低価格)	3	90.9%	-
3	個人B	-	賃金	3	その他	-	-	-
4	株式会社メディア総合研究所	4011001041557	翻訳業務	2	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社キタジマ	5010601023501	印刷製本業務	2	随意契約(少額)	-	-	-
6	株式会社エアサーフ	7013201016625	空港等送迎業務	1	随意契約(少額)	-	-	-
7	株式会社紀伊國屋書店	4011101005131	図書購入	0.9	一般競争契約(最低価格)	2	90.8%	-
8	イデオリンク株式会社	8010001111440	空港等送迎業務	0.9	随意契約(少額)	-	-	-
9	コニカミノルタジャパン株式会社	9013401005070	複合機交換購入等	0.9	一般競争契約(最低価格)	3	79.2%	-
10	リコージャパン株式会社	1010001110829	AEDの購入	0.7	一般競争契約(最低価格)	1	74.2%	-

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社サイマル・インターナショナル	6010001109206	通訳謝金	8	その他	-	-	-
2	個人A	-	講師謝金等	0.3	その他	-	-	-
3	株式会社サン・フレア	7011101024574	通訳謝金	0.2	その他	-	-	-
4	個人B	-	通訳謝金	0.2	その他	-	-	-
5	個人C	-	執筆謝金等	0.2	その他	-	-	-
6	個人D	-	執筆謝金等	0.1	その他	-	-	-
7	個人E	-	講師謝金	0.1	その他	-	-	-
8	麹町税務署	-	諸謝金に対する源泉徴収	0.1	その他	-	-	-
9	個人F	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
10	個人G	-	講師謝金	0	その他	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	公務出張に係る交通費等	5	その他	-	-	-
2	職員B	-	公務出張に係る交通費等	4	その他	-	-	-
3	職員C	-	公務出張に係る交通費等	3	その他	-	-	-
4	職員D	-	公務出張に係る交通費等	2	その他	-	-	-
5	職員E	-	公務出張に係る交通費等	0.8	その他	-	-	-
6	職員F	-	公務出張に係る交通費等	0.7	その他	-	-	-
7	職員G	-	公務出張に係る交通費等	0.6	その他	-	-	-
8	職員H	-	公務出張に係る交通費等	0.6	その他	-	-	-
9	職員I	-	公務出張に係る交通費等	0.1	その他	-	-	-
10	職員J	-	公務出張に係る交通費等	0	その他	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	国際研修参加に係る交通費等	0.4	その他	-	-	-
2	個人B	-	国際研修参加に係る交通費等	0.4	その他	-	-	-
3	個人C	-	国際研修参加に係る交通費等	0.4	その他	-	-	-
4	個人D	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
5	個人E	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
6	個人F	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
7	個人G	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
8	個人H	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
9	個人I	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-
10	個人J	-	国際研修参加に係る交通費等	0.3	その他	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
2	個人B	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
3	個人C	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
4	個人D	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
5	個人E	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
6	個人F	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
7	個人G	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
8	個人H	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
9	個人I	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-
10	個人J	-	専門家の招へい等に係る交通費等	1	その他	-	-	-

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際連合地域間犯罪司法研究所(UNICRI)	-	派遣職員の活動準備経費	2	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	